

令和3年度			
講習の区分	<選択必修領域講習>受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域		講習時間数 6 時間
講習の名称	【選択必修】学校の内外における連携及び学校における危機管理		講習形態 講義 (WEB配信) (遠隔授業)
開設者	長崎大学		定員 50名
開設日/時間	令和3年7月11日(日) / 8:25~15:50	会場	インターネットを受信できる場所(職場もしくは自宅など)
主な受講対象者	学校種	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼保連携型認定こども園	
	免許職種、教科等	特定しない	
	職務経験等	特定しない	
講習の概要	様々な問題に対する組織的対応の必要性		
	学校における危機管理上の課題		
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス / TEL 池田 浩(元長崎大学教育開発推進機構生涯教育センター) / kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872			
担当教員(分担担当者) 古野 祐一(人文社会科学域・教育学部附属小学校)			
講習のねらい / 講習方法 / 講習到達目標 講習のねらい： 教員として子どもの問題やさまざまな緊急事態にいかに対処すべきかを考察する。学校外の地域の諸機関との連携体制および学校運営のうえで留意すべき危機管理事項についても見識を深め、子どもたちを守るための具体的方策について考える。 講習方法： 教育現場が直面している今日的課題をもとに講義を行う。 講習到達目標： 1. 家庭・地域社会等との連携協力の在り方について理解する。 2. 学校における危機管理上の課題とその対応について理解する。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： 学校内外における子どもの安全を確保するとともに、問題行動に適切に対処するには、校内での教職員間の連携体制が確立しているのみならず、家庭・学校・医療・行政の地域の連携体制が正しく機能することが大切である。本講習では、校内における危機管理上の具体的方策、および学校の組織としての対応の在り方や内外の関係機関との連携について考察を深める。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション(WEB配信)	8:25~ 8:30(5分)	古野 祐一
	講義1【学校における危機管理上の課題】(休憩20分を含む)(WEB配信)	8:30~11:10(160分)	古野 祐一
	筆記試験1(WEB配信)	11:10~11:50(40分)	古野 祐一
	昼休憩	11:50~12:30(40分)	
	講義2【様々な問題に対する組織的対応の必要性】(休憩20分を含む)(遠隔授業)	12:30~15:10(160分)	池田 浩
	筆記試験2(遠隔授業)	15:10~15:50(40分)	池田 浩
キーワード： (地域連携) (危機管理)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書はありません。		
各自で準備するもの	なし		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 また、「【選択】学校における危機管理」や「【選択】学校と関係機関との連携～児童福祉制度と少年司法制度～」とは同様の内容を含む講習ですので、それらの講習と本講習との重複講習はできません。(どれか一つの講習を受講ください。) 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		